



# 看護

# くまもと



## CONTENTS

- 会長あいさつ ..... P2
- 平成24年度 熊本県看護協会通常総会 ..... P3
- 平成24年度 新理事紹介 ..... P4
- 平成24年度 新支部長紹介 ..... P5
- 平成24年度 重点事業の要旨 ..... P6
- 看護の日記念式典及び講演会 ..... P7
- 高校生の1日看護体験 ..... P8~P9
- 九州北部豪雨災害 ..... P10
- 平成24年度 熊本県看護協会の理事会開催状況 ..... P11
- 事務局だより・新刊案内 ..... P12

発行日 平成24年9月14日

発行者 高島和歌子

編集者 広報委員会

発行所 社団法人熊本県看護協会

熊本市東区東町3丁目10番39号

TEL 096-369-3203

FAX 096-369-3204

URL <http://www.kna.or.jp>

会員数 14,635名(平成24年9月1日現在)

## 会長あいさつ



熊本県看護協会 会長  
高島 和歌子



まだまだ暑い日が続いております。

会員の皆様には、日頃の熊本県看護協会へのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、7月の九州北部豪雨災害では、阿蘇市の内牧や一の宮地区で亡くなられた方や行方不明者、浸水被害があり、熊本市の龍田でも浸水被害がありました。被害を受けられた方にお見舞いを申し上げます。まだ、復興は完全ではありません。看護職の中にも浸水の後片付けをしながら勤務されておられる方もいらっしゃるかもしれません。体調管理に気を付けていただきたいと思います。このたびの災害については、県や阿蘇市との連携のもと、熊本県看護協会災害支援ナースを延べ58名、15日間にわたって派遣しました。災害支援ナースや所属元の施設代表者・看護管理者にお礼を申し上げます。

また、8月はじめの3日間、「高校生の1日看護体験」受け入れにご協力いただき、ありがとうございました。今年は、県下65の高校から、702人の高校生が県内35の病院で看護体験をしました。少子高齢社会の中で看護師の数の確保が課題となっています。平成3年度から始まった、この「高校生の1日看護体験」が、若い人に、看護という職業を、やりがいのある自分を成長させる職業として選ぶことにつながってほしいと思います。準備をして、迎えてくださった病院と現場の皆様には、あらためてお礼を申し上げます。

ところで、7月はじめには、専門・認定看護師の数が発表されました。専門看護師10分野の795人(熊本県4分野7人)、認定看護師21分野の10,875人(熊本県21分野147人)、認定看護管理者1,734人(熊本県17人)となりました。新しく認定された方々の、専門的看護の質の向上とチーム医療をとおして専門的知識・技術の看護視点での発揮、また、経営体組織への貢献を期待いたします。

それから、ナースセンター事業として昨年行った潜在看

護師の再就業支援研修は受講者の4割以上の方が再就業されており、企画した側としては、効果があったと評価しております。潜在看護師の再就業支援研修は今年は10月10日から12日の3日間を予定しています。実習を受けてくださる病院に感謝いたします。また、人員確保に悩んでいらっしゃる病院・施設には、ぜひとも自施設の研修プログラムによる再就業支援研修を継続して開催されることをお勧めします。

平成24年度の研修事業の進捗状況は、がん、フィジカルアセスメント、感染対策、看護研究の研修も益々充実した内容で開催しています。新入会員の研修も2回行いました。ファーストレベル、訪問看護師養成研修等の長期研修も前半を過ぎました。一昨年からの新人看護職員の研修義務化に伴う研修は、責任者だけでなく教育担当者(部署単位)・実施指導者(プリセプター)と3段階で行われています。これから後半期は9月のワークライフバランス推進ワークショップを開催します。また、11月18日は看護管理者(看護部長等)会議を開催します。また、グループワークの後、日本看護協会坂本すが会長のお話を予定しています。11月17日は『医療安全推進週間講演会』の講演を企画中です。現場の医療安全の課題を一般の方にも共有いただき、みんなで考える医療安全の場となることを期待いたします。

看護の現場の課題として、看護師確保と平行して夜勤や多様な働き方等の雇用の質の向上、訪問看護師の養成・訪問看護ステーションを増やすなどの訪問看護の推進、介護施設や老人施設に勤務する看護師の看護機能の発揮と研修機会の増大等があります。会員の皆様とこれらの課題を共有して、推進してまいりたいと思いますので、ご協力をお願い申し上げます。

# 「平成24年度 熊本県看護協会通常総会」

平成二十四年度  
社団法人 熊本県看護協会  
**通常総会**  
会場  
日時 平成二十四年六月三日(日)  
場所 熊本県立劇場演劇ホール



6月3日(日)、熊本県立劇場において蒲島熊本県知事臨席のもと「平成24年度熊本県看護協会通常総会」が開催されました。871名の会員の参加がありました。高島会長の開会の挨拶では、県知事のマニフェストにも挙げられている在宅医療の推進、訪問看護の充実にむけて重点的に取り組んでいくということが述べられました。

次に、熊本県看護協会会員として看護業務に邁進され、看護の質の向上に努力された25名の看護職者への表彰が行われました。

来賓の挨拶では蒲島知事より「長寿を恐れない社会・長寿を楽しむ社会をめざし、認定看護師資格取得への支援、訪問看護サービスの向上への支援を行う。知事である限り看護師の味方でありたい。」との心強いお言葉を頂きました。

その後、提出議題の審議に入りました。第4号議案の改選役員・委員等の選出のための選挙も滞りなく行われ、第1号議案～第8号議案のすべてが可決・承認されました。

総会終了後は職能別集会が行われました。保健師職能「地域包括ケアシステムと保健活動」、助産師職能「助産師基礎教育カリキュラム改正の概要と課題」、看護師職能「介護施設等の看護の機能強化をめざして」と職能ごとのテーマについて活発な討議が行われました。  
(文責/広報委員)



保健師職能集会



助産師職能集会



看護師職能集会

**副会長 堀田 美波 (個人)**

この度、副会長に選任されました。初めての重責で身の引き締まる思いです。

看護の現場の皆様のご意見をいただきながら、担当する在宅ケア推進委員会等を通して様々な課題に取り組んでまいります。また、ワークライフバランスの推進や公益社団法人化に向けた活動にも力を入れていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお祈ひします。



**常務理事 竹田 和子 (熊本県看護協会)**

7月から常務理事として勤務しております。

この度の九州北部豪雨災害では被災された皆様、御見舞い申し上げます。また、支援ナースとして現地に赴いてくださった方、送り出していただいた看護管理者の皆様本当にお世話になりました。奇しくも最初の仕事が災害派遣でした。協会は今、公益社団法人移行に向け進めているところです。微力ながらお役にたてるよう頑張りたくと思ひます。

これからもどうぞよろしくお祈ひいたします。



**会計理事 上野 留美子 (個人)**

今回、初めて会計理事を務めさせていただきます。これまで熊本県職員として在職中、看護行政に携わっていたこともあって、県看護協会には私の良き相談相手として、また様々な事業の実施について大変お世話になりました。そして、看護協会の社会における役割の大きさと、組織力の強さをいつも痛感しておりました。

任期中は、微力ながら少しでも看護協会のお役に立てるよう頑張りたくと思ひますので、よろしくお祈ひいたします。



**保健師職能理事 島村 富子 (熊本市西区役所)**

この度保健師職能理事を務めさせていただきますこととなりました。今年度「保健師活動指針の見直し」が実施されます。委員会の方々を始め協会の皆様からご教示をいただきながら、会員皆様と協会の双方向から、意見の交換・情報伝達ができるような活動をしていきたいと思ひます。



**熊本地区理事 岩本 幸代 (くまもと森都総合病院)**

くまもと森都総合病院(旧NTT西日本九州病院)看護部長の岩本です。地区理事に就任しました7月1日は偶然にも、当院の名称が変わった日でもあります。地区理事業務として、看護業務に関する事項等に係らせて頂きます。皆様と連携させて頂き、看護職の発展に微力ながら貢献したいと考えています。一層のご支援・ご指導を宜しくお祈ひいたします。



**熊本地区理事 耕 理千子 (熊本市立植木病院)**

この度、熊本地区理事を務めさせて頂くことになりました。

初めての理事会で公益社団法人に移行する大切な時期であることを肌で感じ、それと共に協会活動の奥深さをを知り、責務の重さを痛感しております。微力ですが皆様のご指導を仰ぎながら協会と地区支部との橋渡しの存在となれるよう努力いたしたいと思ひます。又、広報委員会の担当理事として会員の皆様に多くの情報を伝えていきたいと思っております。宜しく御祈ひいたします。



**城南地区理事 平 恵美 (公立多良木病院)**

7月に着任いたしました。どうぞよろしくお祈ひいたします。

私の任務は、熊本県看護協会が挙げております5つの重点事業の推進に尽力すること、担当いたします地区の支部長さんと連携し、協会運営に協力することです。又医療看護安全対策委員会活動では、昨年度と同様7月に「事例要因分析」の研修会を実施いたしました。今年度は初めて、9月に施設の医療安全管理者の交流会を予定しております。会員の皆様の今後益々のご支援・ご協力をお祈ひいたします。



**監事 松崎 尚人 (松崎法律事務所)**

私は、10年前より数回の手術を経験し、その度に看護師さん大変お世話になりました。今も、月1回主治医のところに通っています。主治医によりますと、病気で入院を経験した人の方が健康であると言っています。私も家内に心配をかけながら健康な体を維持しています。二度と看護師さんらのお手を患わせないようにしたいと思ひます。

今回熊本県看護協会の監査役に指名していただき、是非適正な業務監査を心がけていきたいと思ひます。宜しくお祈ひします。



平成24年度

# 新支部長紹介

## 菊池支部 島 春代 (菊陽台病院)

平成24年7月より菊池支部の支部長を務めさせていただくことになりました。

このような大役は初めてで、不慣れなこともあり、充分にお役に立てるか不安ではありますが、皆様のご意見とご協力を頂きながら役員の方々と頑張っていこうと思っております。

看護協会の中で、支部の役割は重要です。協会の方針のもと、支部の活動や研修会を通して地域の看護の質向上と看護職の連携を深めていけるように微力ながら努力したいと思っています。

会員の皆様のご指導ご協力よろしくお願いたします。



## 有明支部 松川 美鶴 (和水町立病院)

今年度7月から有明支部の支部長になりました。

支部活動としてはまちの保健室活動、研修会の開催を計画し意見交換会等を行い、地域の看護職間の連携をしっかりとしたものにしていけたらと考えています。まずは、役員一同協力し合って、楽しく活動していきたいと思っています。精一杯取り組んでいきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 熊本西支部 本 尚美 (熊本大学医学部附属病院)

平成24年7月に西支部の支部長に就任いたしました。超少子高齢化を迎える社会の中で、看護に寄せられる期待は大きいものがあります。熊本県看護協会との連携を図りながら、支部の運営委員や会員の方々と共に、地域の看護の質向上に少しでも貢献できればと思います。

また地域の健康・福祉を支えている看護職の雇用の質改善にも一緒に取り組んでいきたいと考えます。皆様方のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## 熊本南支部 宮下 恵里 (済生会熊本病院)

今年度から熊本南支部長を務めさせて頂くことになりました。超高齢社会を見据え、医療の機能分化や地域連携の機能強化、訪問看護の推進など看護職の力が期待されています。

熊本県看護協会の1支部として、公益社団法人に向けた県協会と支部との連携強化と「まちの保健室ボランティア活動」をはじめとした地域住民の健康を支援していきたいと思えます。また各施設の方々と連携を深め、研修会の充実と活発な支部活動を実施し、支部の役割が果たせるよう努力したいと考えています。2年間どうぞよろしくお願いいたします。



## 上益城支部 早川 眞澄 (嘉島町役場)

今年度より上益城支部長を仰せつかりました。行政の保健師です。

今年度の研修の一つに、生活習慣病、特に糖尿病の治療を通じて保健師と看護師が連携して地域の方々の支援ができればと考えて企画しているところです。

研修等で看護の質の向上を、まちの保健室等で地域貢献ができるよう看護協会活動をしっかりと行っていこうと思っています。微力ながら精一杯頑張りますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 宇城支部 西尾 愛子 (くまもと診療病院)

宇城支部は、会員施設数20、会員数約500名で活動しています。支部長、書記、会計は、2年毎の当番制となっており、今年度は当院がその担当であり、看護部長である私が支部長候補となっており、支部集会以降承認後支部長に就任いたしました。精神科病院組織での活動経験はありますが、看護協会の活動は未経験です。膨大な量の引き継ぎを受けて右往左往している現状です。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



## 天草支部 横田 照美 (健康保険天草中央総合病院)

平成24年度より天草支部長をお引き受けすることになりました。このような大役は、初めての経験で不慣れなことも多く皆様には大変ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが地域の看護の質の向上に向けての取り組みや、住民の方々の健康福祉増進に向けて積極的な支部活動を行ってきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 平成24年度 優良看護職員 厚生労働大臣表彰

三宅真理子様 (株) ヴィーヴル  
田尻由貴子様 慈恵病院  
嶋田 晶子様 熊本県看護協会

受章おめでとうございます  
永年のご活躍に敬意を表し  
心よりお祝い申し上げます

## 日本看護協会会長表彰

井手 州子様 熊本市立熊本市民病院  
田中あさ子様 天草市立牛深市民病院

# 平成24年度 重点事業の要旨

### 1. 公益社団法人に向けての支部組織との連携強化

公益社団法人移行に向けて平成23年度から会計の一本化を図り支部運営を行ってきた。今年度も更に支部との連携強化を図っていく。

- ①支部長会を年4回開催
- ②施設看護管理者会を年2回(中央1回、地区1回)
- ③支部長と地区理事との連携強化

### 2. 在宅療養を支える訪問看護を基盤としたサービス提供の確保

在宅での療養の継続と充実が求められ国は「社会保障・税一体改革成案」として医療・介護等のサービス改革を示し、熊本県においても病院・病床機能の分化・強化と連携、在宅医療の充実、地域包括ケアシステムの構築・ケアマネジメントの機能強化・居住系サービスの充実を図るとしている。このように医療が病院中心から在宅中心へ大きくシフト、医療依存度の高い患者も外来・診療所等に通い訪問看護・介護を受けつつ療養を継続する時代である。

県協会としても行政機関と連携して訪問看護の推進に努め、地域で訪問看護を担う訪問看護師の育成、在宅医療に関わる看護・介護の連携強化を図る。

- ①訪問看護ステーションサポートセンターの運営(県委託)
- ②訪問看護に従事する者の人材育成、管理者教育
- ③在宅療養に関する看護の質の向上を図るため、新たに看護師職能委員会に小委員会を設置。看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域)の役割を担当し情報収集並びに課題解決に向けて取り組む。

### 3. 看護職が安心して働き続けられるための環境づくり

日本看護協会の看護職確保定着推進事業と厚労省の看護師等の雇用の質向上への取り組みと連携・協力し、看護職が安心して働き続けられるための環境づくりを推進する。

- ①WLB推進ワークショップの開催
- ②各施設での取り組み状況の好事例を紹介
- ③看護職確保定着推進事業の実施(県委託)
- ④「看護師等の雇用の質向上への取り組み」を支援

### 4. 看護の質向上のための継続教育の充実

看護職の卒後臨床研修制度が努力義務化され3年目となり、施設での新人看護職員研修も推進されてきている。看護に対するニーズは多様化されより高度化されてきていることから平成24年度教育計画(案)に基づき継続教育のための研修の実施、並びに、キャリア開発支援に努めるとともに、看護職の研修の機会を増やすため支部等での研修の充実を図る。さらに、各職能における研修等を開催しそれぞれの課題に取り組む。

- ①看護職の卒後臨床研修制度の実施(県委託)  
研修責任者、教育担当者、実地指導者研修
- ②平成24年度教育計画に基づく研修の実施
- ③各職能・委員会の課題に基づく研修の企画運営
- ④未加入施設への研修の情報の提供

### 5. 県民への健康づくりの支援活動の推進

県民の生活習慣病予防を含んだ健康づくりを支援するために、地域における「まちの保健室」事業の充実を図る。また、イベント等でも「まちの保健室」を実施し、関係機関との連携を図り、幅広く県民の健康づくりを支援する。さらに、地域における次世代育成活動の充実に努める。

- ①「まちの保健室」事業を支部との連携を強化し、充実を図る
- ②「まちの保健室」活動の普及啓発を図るためのチラシ、パンフレット、パネル等の作成並びに活用
- ③幼児期から思春期に対する性教育に携わる人材のネットワークの構築を図る





高校生の

# 1日 看護体験



(8月1日～8月3日)  
県内35の病院で  
702名の高校生が  
参加しました。



## 「看護師の魅力」

熊本県立天草高等学校 福富 美里

私は今回で二度、看護体験に参加させていただきました。私は中学生の頃から看護師になることが将来の夢であり、看護体験は今の私にとって、とても貴重で有意義な財産となりました。体験したことで印象深いのは、入浴と食事です。入浴も食事も、患者さんによって方法や状態が違います。食事においては気管につまらせないためにとろみをつけたり、ミキサーで細かくしたり、多くの工夫が見られました。また食事介助も体験し、患者さんに声をかけながら食事介助をしました。

私は今回の看護体験で感じて得たものがたくさんあります。私は目標にしたい看護師さんを見つけました。看護体験の担当者だった方で、ずっと一緒に過ごしました。患者さんと会話している姿、心構えなどを見ると、私のなりたい看護師像である「患者さんの心に寄り添える看護師」に、ピッタリだと思いました。私が思うに、実際に手術などをして患者さんを助けることができるのは医者ですが、患者さんの心の不安を取り除いたり、補助して、精神の面で助けることができるのは、1番患者さんに近い看護師だけだと思うんです。私はその点に看護師の魅力を感じます。でも、そのように感じれるためには、やはりコミュニケーション能力が不可欠です。だから、今のうちから養っておく必要があるなと思いました。

1日だけの看護体験でしたが、本当に楽しかったです。当然、命を預かる仕事だから、甘い考えではダメだし、思ったより重労働でした。しかし、自分がお世話した患者さんが元気になったのを見ると、とても嬉しくやりがいが出てくるのだらうと思います。そして何より患者さん、看護師さんの笑顔がとてもキラキラしていて、私も早く仲間に入りたいと心から思いました。この体験を忘れることなく、立派な看護師になります。本当にありがとうございました。

## 「私の夢」

熊本県立八代東高等学校 白浜 誠也

先日行われた「高校生の1日看護体験」では貴重な体験をすることができ、沢山のことを学びました。

この看護体験を通して私は看護師になりたいという夢がより一層強くなりました。しかし着慣れないナース服を着用し、看護師の方と実際に患者さんがいらっしゃる病室へ移動し、いざ患者さんを目の前にすると、何をしたらいいのか、どう声を掛けたらいいのか分からずに不安になりました。そんな中、看護師さんはごく自然に患者さんに接し、患者さんの名前を優しく呼びかけ常に耳を傾ける姿勢で接していらっしゃいました。その姿はとても印象に残っています。私はその病室で、寝たきりの患者さんの髪をシャンプーを使って洗うことと、手浴という手を洗うケアを体験しました。どのくらいの強さで洗えばいいのか迷っていると看護師さんが「自分がしてほしいなと思うことを患者さんにすることが大事」と教えていただきました。その話を聞いて手浴では積極的に患者さんの手を握り、手のひらや指の間を丁寧に洗って差しあげることができました。その時に患者さんが「気持ちが良い」と言われた時はとても嬉しかったです。それらの経験を通して患者さんのことを第一に考え、自分だったらどうしてほしいかを常に考え行動することの大切さを学ぶことができました。

他にも、この看護体験では看護師と患者さん両方の気持ちが理解できる体験でした。自分が車椅子に座りペアの人がわざとスピードを上げ、左右に動かしたり、急に曲がったりすると、とても怖かったです。自分が体験したからこそ患者さんにはそんな思いはさせたくないと思い、常に患者さんの気持ちを考えて接したいなと実感しました。また、科長や主任が話された内容についても大変心を打たれ、人間の生命に関わる重大な仕事であることを改めて強く感じ、私もそのような立派な看護師になりたいと、強く強く思いました。



## 高校生への一言インタビュー

まず、手を洗うことが多かったことにびっくりした。1日中、管を通して患者さんに栄養を注入をする体験をしてそれぞれに合わせた食事のとり方があったことを始めて知ってびっくりした。

私達1人1人違うように、患者さんも1人1人に個性がありその個性に合わせた対応ができてることがすごいと思った。看護師の皆さんは、いつも笑顔で対応していた事が凄いと思った。

病院の中には色々な職種の方がいて、協力して医療が成り立っていることが分かった。私も看護師になったら協力して患者さんの看護を行いたいと思いました。



## 指導者の声

### 健康保険八代総合病院4西病棟 中村 紀子

看護学生の臨地実習、中学生や高校生の職場体験等「学生」と言われる立場の人々との出会いは数々あり、指導者としてまた子を持つ母として、色々な事を学ばせてもらっています。「高校生の1日看護体験」もここ数年携わっていますが、前述の出会いとは違った感覚を覚えます。今年は何人参加されて、白衣準備担当は、写真撮影担当は、と実習受け入れとは違う準備があるからか?理由を考えてみました。色々な答えの中、決定的な理由の1つに「患者様の反応」があります。事前に患者様に事情を説明して体験を行います。日々私達が接する時とは全く違う反応をされることがあります。高校生の中に「我が孫」「わが子」を連想されるのか、僅か15分程度の関わりの中で温かく、やさしく、時には慈愛さえ感じる反応であり、私達には見せた事のない患者様の一面を見る事があります。何らかの健康問題を抱え病床におられる患者様から、高校生へ向けて発せられる言葉ではないメッセージを感じます。このような人とひととの関わりが高校生の心に刻まれ、高校生も患者様から何かを学びとっている事が見ていて感じられます。私達も忘れていた昔の気持ち(この道に入ると決めた頃の気持ち)を思い出し、着なれない白衣からいつもの制服に着替えて笑顔で帰っていく若者の姿を見送り、今年の高校生との夏が終わりました。

## 2012年 高校生の1日看護体験 参加人数

	実施病院	実施日	人数		実施病院	実施日	人数
1	熊本地域医療センター	8月3日(金)	15	19	山鹿市民医療センター	8月1日(水)	13
2	熊本市立熊本市市民病院	8月1日(水)・2日(木)	47	20	国立病院機構熊本再春荘病院	8月2日(木)	27
3	熊本大学医学部附属病院	8月1日(水)	59	21	国立療養所菊池恵楓園	8月2日(木)	3
4	熊本赤十字病院	8月1日(水)・3日(金)	59	22	国立病院機構菊池病院	8月2日(木)	3
5	済生会熊本病院	8月2日(木)・3日(金)	57	23	熊本セントラル病院	8月1日(水)	14
6	国立病院機構熊本医療センター	8月1日(水)・3日(金)	38	24	阿蘇中央病院	8月2日(木)	5
7	熊本中央病院	8月2日(木)・3日(金)	54	25	国立病院機構熊本南病院	8月1日(水)	9
8	自衛隊熊本病院	8月3日(金)	9	26	熊本県こども総合療育センター	8月2日(木)	10
9	くまもと成仁病院	8月1日(水)・2日(木)	8	27	宇賀岳病院	8月3日(金)	11
10	熊本機能病院	8月1日(水)	18	28	八代総合病院	8月1日(水)	26
11	青磁野リハビリテーション病院	8月2日(木)	8	29	熊本労災病院	8月2日(木)	30
12	くまもと森都総合病院	8月2日(木)・3日(金)	20	30	水俣市立総合医療センター	8月1日(水)	19
13	江南病院	8月1日(水)	8	31	公立多良木病院	8月1日(水)	21
14	くわみず病院	8月1日(水)・2日(木)	25	32	天草中央総合病院	8月3日(金)	11
15	熊本第一病院	8月1日(水)・2日(木)	4	33	天草市立河浦病院	8月3日(金)	5
16	玉名地域保健医療センター	8月3日(金)	10	34	天草市立牛深市民病院	8月1日(水)	7
17	公立玉名中央病院	8月2日(木)	24	35	上天草市立上天草総合病院	8月3日(金)	10
18	荒尾市民病院	8月2日(木)	15				
						計	702

# 九州北部豪雨災害 災害支援に参加して

災害看護対策委員長 済生会熊本病院 古木アケミ



浸水被害直後の阿蘇温泉病院



避難所の様子



山崩れの現場



視察中の蒲島知事と高島会長

私は、九州北部豪雨災害発災から6日目の阿蘇の避難所へ県看護協会から災害支援ナースとして夜間の健康管理を行った。

避難所には、土砂災害により家屋を全壊・半壊された方たちや避難指示・勧告された地域の住民230名前後が居られ、天候の回復とともに日中は家屋の片づけ作業等されていた。18時より現地保健師より、避難所や避難者の状況等情報を得、避難所内の物品配置や環境を確認し血圧計と記録を持って避難者のもとへ向かった。

名前や所在も分からない為、「気分が悪いとか、血圧が気になる方はおられませんか」と声をかけながら、保健師から依頼があった人だけでなく一人でも多くの人の情報収集に努めた。血圧が上昇傾向にある人や有熱者、作業による疲労や肩こり・腰痛が見られた。葬儀に行かれ飲酒された人もいて、これから先の作業や生活、失ったものや天候による不安を話され、傾聴に努めた。

夜間は、巡回とともに避難者の記録および配置図作成や感染・熱中症予防等のポスターを作成した。また、夜間対応の保健師はこれまで仮眠もとれておらず、交代で仮眠をとるようにした。朝からの巡回時は、地区の区長さんが地区住民50名程の方に情報伝達や注意事項など説明されているところだった。夜間その地区住民は、大きな集団に連なって休んでいた。家族単位ばかりでなく、高齢者を囲んだ近隣女性の集まりなどであった。日頃のコミュニティの強さを感じた。状況を申し送り9時に支援は終了した。

発災から20日目、私は再び同じ避難所へ支援最終者として赴いた。避難所は翌日より縮小され、パーテーション等を用い家族単位で過ごせるようになる予定だった。また、保健師の活動も通常業務へ移行し、住民巡回を県内外からの応援保健師で行う方針となっていた。当日避難者は、31名と減少していた。

環境も、ベッドやテントによる更衣室ができ、要介護者用ベッド

にはカーテンでプライバシーが確保されるようになっていた。避難住民も、交代で支援に着く私達に慣れたのか、自ら血圧測定を依頼される方も見られた。そして、明日から変わる避難所への期待と不安、そして、避難所や仮設住宅入所後どこに住むか、地域の間関係など話された。心のケアチームが介入している方もいたが、受診後よく休めるようになったと話していた。

夜間は、明日からの住民巡回に備え要支援者・介護者のマップ作成を手伝った。翌朝早くから避難住民は、移動準備をされていた。朝8時半、県内外保健師と巡回・業務調整が行われ私の支援は終了した。

災害支援の最初と最後を体験し、日々の避難者の状況や支援ナースの活動記録、避難所の環境変化などから保健師と協力し継続してアセスメントに基づいたケアや指導、工夫が行われていると感じた。私自身も避難所で必要とされる「こころのケア」には、悩みながらであったが、研修で学んだことや日常の看護場面での患者に対する傾聴の姿勢で対応した。そして、継続し支援することで、避難住民の健康管理やこころのケアが維持・展開できるということを感じた。

最後に、支援ナースが支援できるよう協力、準備して下さった方々に感謝し、被災地、被災者の復興を祈りたい。

# 「九州北部豪雨災害支援における 熊本県看護協会の動き」

## 災害支援ナース派遣結果

派遣期間: 7/17~8/1 (15日間)

支援時間: PM6:00~AM9:00

支援場所: 救護所2カ所 ①阿蘇市体育館(農業環境改善センター)

②阿蘇市一の宮保健センター一の宮中学校体育館

支援体制: 1救護所2名体制

災害支援ナース: 延58名

期 日	看護協会の動き
7月12日(木) 発災: 当日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の中止連絡</li> <li>・支部長、理事へ災害に関する情報提供をメールで依頼</li> <li>・阿蘇地区の病院へ被災状況を電話で聞き取り調査(阿蘇立野病院・阿蘇中央病院・大阿蘇病院)※阿蘇温泉病院は不通</li> <li>・熊本県担当課と情報交換</li> </ul>
7月13日(金) 発災: 2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇市役所健康福祉課長より支援ナース派遣要請について連絡 ～県担当課へ連絡</li> <li>・会長、副会長、常務理事で協議</li> <li>～災害支援ナース派遣準備を検討、所属施設へ連絡</li> </ul>
7月14日(土) 発災: 3日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策会議を実施(会長、副会長2名、常務理事、災害担当理事、事務局)</li> <li>～災害支援ナース所属施設より派遣について連絡調整</li> </ul>

7月15日(日) 発災: 4日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地視察(会長他4名)(阿蘇市体育館、阿蘇温泉病院、一の宮中学校体育館、一の宮保健センター、阿蘇保健所)</li> <li>・阿蘇市古木保健師と体制について検討</li> </ul>
7月16日(月)海の日 発災: 5日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援体制について協会事務局で検討</li> <li>～派遣協力できる施設等へ電話等で協力依頼</li> </ul>
7月17日(火) 発災: 6日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇市長より支援ナース派遣依頼のFAX届く</li> <li>・派遣決定者のボランティア保険手続き</li> <li>・2カ所の避難所に2名体制で派遣</li> <li>・第1陣出発</li> <li>～出発前に派遣ナースと避難所の状況について情報交換</li> <li>～第1陣の支援ナースであり、災害看護対策委員の古木看護師へ必要品の搬送を依頼</li> </ul>
7月18日(水)以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援ナースからの情報収集、後続の支援ナースへ連絡調整</li> <li>・物品の補充等、後方支援</li> </ul>
7月25日(水) 発災: 14日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地視察(嶋田副会長、竹田常務理事)</li> <li>～派遣終了日を検討</li> </ul>
8月1日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援ナース派遣終了</li> </ul>
8月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害支援ナース活動報告会を開催</li> </ul>

## 平成24年度熊本県看護協会の理事会開催状況(平成24年4月~8月)

今回看護くまもとに掲載する理事会開催状況(協議事項)は以下のとおりです。

### 第1回理事会

日時: 平成24年4月19日(木) 出席者: 理事・監事16名

1. 熊本県看護協会災害要綱(案)について
2. 社団法人熊本県看護協会定款細則の一部改正(案)について
3. 平成24年度熊本県看護協会通常総会について
4. 平成24年度看護の日の役割分担並びに支部看護週間行事について
5. 平成24年度支部集会について
6. 「子供を交通事故から守ろう」キャンペーン寄贈について

### 第2回理事会

日時: 平成24年5月17日(木) 出席者: 理事・監事16名

1. 公益社団法人熊本県看護協会 理事報酬規程(案)について
2. 公益社団法人熊本県看護協会 監事報酬規程(案)について
3. 平成24年度熊本県看護協会通常総会の提出議案について
4. 平成24年度熊本県看護協会通常総会について
  - 1) 提出議題(第1号議案~第8号議案)について
  - 2) 総会要綱について
  - 3) 総会運営について
5. 平成24年度常任・特別委員会・小委員会の委員の承認について
6. 第2回合同委員会プログラム(案)について
7. 認定看護管理者研修運営委員会委員の承認について
8. 平成24年度熊本県看護協会支部集会への役員出席について
9. 看護師職能研修会について
10. 医療メデイエーション研修会(業務委員会)について

### 第3回理事会(確認理事会)

日時: 平成24年6月3日(日) 出席者: 理事・監事18名

1. 平成24年度熊本県看護協会通常総会出席者の状況について
2. 公益社団法人移行後の公益社団法人看護協会役員選任について
3. 平成24年度熊本県看護協会通常総会議事確認について
  - 1) 提出議題審議について
  - 第1号議案から第8号議案が承認された。
4. 平成25年度通常総会並びに三職能集会の日程並びに会場について
 

期日: 平成25年6月15日(土)

会場: 熊本県立劇場(演劇ホール)

### 第4回理事会

日時: 平成24年6月21日(木) 出席者: 理事・監事16名

1. 社団法人熊本県看護協会就業規則の改正(案)について
2. 社団法人熊本県看護協会非常勤職員就業規則の改正(案)について
3. 育児・介護休業等に関する規程(案)について
4. 公益社団法人移行申請について
  - 1) 申請書について
  - 2) 特定費用準備資金等取扱規程(案)について
5. 公益社団法人熊本県看護協会定款細則の一部改正(案)について
6. 平成24年度社団法人熊本県看護協会役員の職務並びに担当(案)について
7. 平成24年度社団法人熊本県看護協会委員会委員(案)の選任について
8. 支部集会について
9. 看護管理者会議(中央/地区・支部開催)について
10. 理事会における地区理事の報告について
11. 助産師職能委員会研修会の実施要項(案)について
12. 「高校生1日看護体験」の主催者挨拶担当について
13. 「看護くまもと」85号(9月発行)の企画について

### 第5回理事会

日時: 平成24年7月10日(火) 出席者: 理事・監事17名

1. 社団法人熊本県看護協会旅費規程(案)について
2. 平成24年度社団法人熊本県看護協会委員会委員(案)の選任について
3. 第2回支部長会プログラム(案)について
4. 平成24年度看護管理者会議プログラム
5. 雇用の質プロジェクトについて

### 第6回理事会

日時: 平成24年8月16日(木) 出席者: 理事・監事17名

1. 看護管理者会議について
2. 九州北部豪雨災害の募金について
3. 平成24年度熊本県看護協会非常伝達訓練について

## 熊本県看護協会会館建設・整備資金納入施設名簿

期日:平成24年4月1日～平成24年8月17日

施設名	件数	金額
湧上病院	1	30,000
熊本中央病院	29	870,000
菊南病院	2	60,000
上天草総合病院	5	150,000
熊本回生会病院	2	60,000
熊本大学医学部附属病院	52	1,560,000
熊本市立熊本市民病院	6	180,000
天草地域医療センター	13	390,000
熊本リハビリテーション病院	22	660,000
合計	132	3,960,000

残暑お見舞い



くまもと成仁病院 城 博美さん作

## 新刊案内 New publication guide

書名	副題	出版社
看護の時代	看護が変わる 医療が変わる	日本看護協会出版会
看護管理	システムアプローチ	へるす出版
訪問看護実務相談Q&A		中央法規
看護必要度	看護サービスの新たな評価基準	日本看護協会出版会
看護倫理のための意思決定10のステップ		日本看護協会出版会
社会の中の看護	ワーキング・スマートII	日本看護協会出版会
ナレッジ・イネープリング	知識創造企業への五つの実践	東洋経済新報社
行動科学の展開	入門から応用へ	生産性出版
月刊 地域保健 2012 第4号	福島の保健師は今	東京法規出版
看護管理学習テキスト第2版	看護管理概論 第1巻	日本看護協会出版会
看護管理学習テキスト第2版	看護組織論 第2巻	日本看護協会出版会
看護管理学習テキスト第2版	看護マネジメント論 第3巻	日本看護協会出版会
看護管理学習テキスト第2版	看護における人的資源活用論 第4巻	日本看護協会出版会
看護管理学習テキスト第2版	看護情報管理論 第5巻	日本看護協会出版会
看護管理学習テキスト第2版	看護経営・経済論 第6巻	日本看護協会出版会
看護管理学習テキスト第2版	看護制度・政策論 第7巻	日本看護協会出版会
看護管理学習テキスト第2版	看護管理学研究 第8巻	日本看護協会出版会
看護管理学習テキスト第2版	看護管理基本資料集 2012年版	日本看護協会出版会
平成24年度版 看護六法		新日本法規
平成24年度版 看護法令要覧		日本看護協会出版会
看護教育学 第5版		医学書院
がん終末期患者のストーリーQ&A		日本看護協会出版会
フィッシュ!の導入と実践ガイド		日本看護協会出版会
はたさば ナースのはたらくサポートブック		日本看護協会
看護師の交代勤務	ルールがわかれば変わる	看護の科学社
「チーム医療」とは何か	医療とケアに生かす社会学からのアプローチ	日本看護協会出版会
退院支援・退院調整ステップアップ		日本看護協会出版会
在宅ケアリスクマネジメントマニュアル	生活の場の看護から導き出された!	日本看護協会出版会
病院会計準則とその手引	社会保険研究所	社会保険研究所
看護必要度 第4版	看護サービスの新たな評価基準	日本看護協会出版会
「維新の若きサムライ、一井正典とその時代」	郷土の偉人一井正典・生誕150周年	熊本県歯科医師会
平成24年度4月版介護報酬の解釈1	単位数表編	社会保険研究所
平成24年度4月版介護報酬の解釈2	指定基準編	社会保険研究所
モース&フィールドの看護研究	質的研究を実際に始めるためのガイドブック	日本看護協会出版会
臨床倫理ベーシックレッスン	身近な事例から倫理的問題を学ぶ	日本看護協会出版会
家族看護選書 第1巻	家族看護の基本的な考え方	日本看護協会出版会
家族看護選書 第2巻	周産期の家族への看護	日本看護協会出版会
家族看護選書 第3巻	子どもその家族への看護	日本看護協会出版会
家族看護選書 第4巻	在宅での家族への看護	日本看護協会出版会
家族看護選書 第5巻	終末期の家族看護・グリーフケア	日本看護協会出版会
家族看護選書 第6巻	家族に向き合う看護師のジレンマとパートナーシップ形成	日本看護協会出版会
診療報酬・介護報酬 改定概要+Q&A		日本看護協会出版会
事例を通して学ぶ 避難所・仮設住宅の看護ケア		日本看護協会出版会
にわか役人奮闘記	久常節子の看護課長体験	学研
ペロウ看護論	看護実践における対人関係理論	医学書院

## 編集後記

猛暑が続きましたが、皆様熱中症などで体調を崩されていませんか? 新メンバーを迎え新たな気持ちで情報を発信していきたいと思ひます。

### 編集(広報委員)

担当理事	耕 理千子		
委員長	松村 英尚		
委員	江島 峰子	小牧 管子	
	筑紫 弥生	木村 真澄	
	榊 友恵	都築 美幸	
	渡邊 由美		

### 新メンバー紹介



にしくまて病院  
都築 美幸



甲佐町役場  
木村 真澄



隣野ハビリ  
テリオン病院  
渡邊 由美



熊本県立  
こころの医療センター  
榊 友恵



表紙のご紹介

高校生の1日看護体験  
くまもと成仁病院・熊本市民病院・河浦病院